

個人再生のデメリット

- ①いわゆるブラックリストに載る
- ②官報に掲載される
- ③利用できる条件に一定の制限がある
- ④手続きが複雑で半年ほど時間がかかる
- ⑤一部の借金のみを整理することができない
- ⑥住宅を手放さない場合、再生計画の返済と並行して住宅ローンの返済もする
- ⑦最長支払年数が決まっているため、場合によって月の返済額が大きくなる
- ⑧再生計画案通りの返済ができない場合、再生計画の取消しの可能性がある
- ⑨5～7年間は、新たに借金をしたり、クレジットカードを作れない